**【書式】間接強制申立書（不作為義務の場合）**

|  |
| --- |
| **間接強制申立書**  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　収　入  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印　紙  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日  　　　　地方裁判所　　　　　　　　　御中  　　　　　　　　　　　　　　　債権者代理人弁護士　○　○　○　○　印  　　　　　　　　当事者の表示　別紙当事者目録記載のとおり（※省略）  　　　　　　　　　　　　　　　　申立ての趣旨  １　債務者は、○○（債務名義表示の不作為義務を記載）してはならない。  ２　本決定送達の日以降、債務者が前項記載の義務に違反し、○○したときは、債務者  　は債権者に対し、違反行為をした日１日につき金○○万円の割合による金員を支払え  　　　　　　　　　　　　　　　　申立ての理由  　債務者は、債権者に対し、下記事件の執行力ある債務名義の正本に基づき、申立ての  趣旨第１項のとおりの義務があるにもかかわらず、これに違反するおそれがあり、違反  の場合、債権者は損害（別添報告書参照）を被ることとなる。そうすると、支払予告金  は、別添報告書記載のとおり、申立ての趣旨第２項の金員とするのが相当であると思料  する。  　よって、申立ての趣旨記載の裁判を求める。  　　　　　　　　　　　　　　　　　　記  　○○地方裁判所　平成・令和○○年（ワ）第○○○○号  　○○請求事件の判決  　　　　　　　　　　　　　　　　添付書類  １　執行力のある判決正本　　　　　　１通  ２　上記送達証明書　　　　　　　　　１通  ３　損害見積書　　　　　　　　　　　１通 |